

第2次一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン 2023年度 事業計画 進捗点検票(年度末確認用)

| 基本方針 | | 基本施策 | | 実施手法 | | 推進主体 | 市の評価 |
|------|----------------------------------|--------------------------|------------------|-------|-------------------------------|-------|------|
| 1 | 協働による取組を進めます 市民、事業者との連携を強化し、の | 1-1 市民との連携による取組の推進 | | 1-1-1 | 3R学習の充実 | 環境政策課 | ○ |
| | | | | 1-1-2 | 担い手づくりに向けた取組の推進 | 環境政策課 | ○ |
| | | 1-2 事業者・各種団体との連携による取組の推進 | | 1-2-1 | 飲食店・スーパー・百貨店等の事業者との協働による取組の推進 | 環境政策課 | ○ |
| | | | | 1-2-2 | スポーツチーム・教育機関等団体との協働による取組の推進 | 環境政策課 | ○ |
| | | 1-3 市民や事業者の主体的取組の支援 | | 1-3-1 | 地域が行う取組の支援 | 環境政策課 | ○ |
| | | | | 1-3-2 | 事業者が行う取組の支援 | 環境政策課 | ○ |
| | 1-3-3 | | 各種情報ツールを活用した情報発信 | 環境政策課 | ○ | | |

| 基本方針 | | 基本施策 | | 取組施策 | | 推進主体 | 市の評価 |
|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------|-------------------|-------------------------|----------------|------|
| 2 | 家庭系ごみの減量を進めます | 2-1 生ごみの減量の推進 | 重点 | 2-1-1 | 生ごみの発生抑制 | 環境政策課 | ◎ |
| | | 2-2 プラスチックごみの減量の推進 | 重点 | 2-2-1 | プラスチックごみの発生抑制 | 環境政策課 | △ |
| | | | 重点 | 2-2-2 | プラスチックごみの資源化の推進 | 環境政策課 | ○ |
| | | 2-3 その他の家庭系ごみの減量の推進 | 重点 | 2-3-1 | リデュース・リユースの推進 | 環境政策課 | ○ |
| | | | | 2-3-2 | リサイクルの推進 | 環境政策課 | △ |
| 2-4 家庭系ごみ処理手数料の見直しの検討 | | 2-4-1 | 家庭系ごみ処理手数料の見直しの検討 | 環境政策課 | ○ | | |
| 3 | 事業系ごみの減量を進めます | 3-1 事業系ごみの適正排出の推進 | 重点 | 3-1-1 | 適正排出に向けた取組の推進 | 環境政策課 | ◎ |
| | | | | 3-1-2 | 優良事例の公表・拡大 | 環境政策課 | ◎ |
| | | 3-2 事業系ごみの減量の促進 | | 3-2-1 | 公共施設から排出される事業系ごみの削減 | 環境政策課 | △ |
| | | | | 3-2-2 | 事業系生ごみの削減 | 環境政策課 | △ |
| | 3-2-3 | 事業系紙類の減量・資源化 | 環境政策課 | ○ | | | |
| 3-3 事業系ごみ処理手数料の見直し検討 | | 3-3-1 | 事業系ごみ処理手数料の見直し検討 | 環境政策課 | ○ | | |
| 4 | 環境に配慮した資源化施設を整備し、安全な処理に努めます | 4-1 一般廃棄物処理施設の整備 | 重点 | 4-1-1 | 環境に配慮した新しいごみ焼却施設等の整備・運営 | 循環型施設管理課 | △ |
| | | | | 4-1-2 | 生ごみのバイオガス化施設の整備・運営 | 循環型施設管理課 | — |
| | | | | 4-1-3 | 資源化施設の整備 | 循環型施設整備課 | △ |
| | | 4-2 収集体制の整備 | | 4-2-1 | 収集体制の見直し | ごみ収集課 | △ |
| 4-3 資源の有効活用の推進 | 重点 | 4-3-1 | 資源化の拡大 | 環境政策課 循環型施設管理課 | ○ | | |
| 5 | 社会的課題への対応を強化します | 5-1 災害時等のごみ処理に関する対応力強化 | 重点 | 5-1-1 | 災害時等のごみ処理に関する計画の見直し | 環境政策課 | ○ |
| | | | | 5-1-2 | 災害時等の教育・訓練 | 環境政策課 ごみ収集課 | ○ |
| | | | | 5-1-3 | 応援・受援体制の整備 | 環境政策課 | ○ |
| | | 5-2 超高齢社会の到来に伴うごみに関する問題への対応 | | 5-2-1 | 高齢者等に対応した収集体制の検討 | ごみ収集課 | △ |
| | | | | 5-3-1 | 不用品の違法回収防止対策の推進 | 環境政策課 ごみ収集課 | ○ |
| | | 5-3 不適正処理防止対策 | | 5-3-2 | 不法投棄防止対策の推進 | ごみ収集課 | ○ |
| | | | | 5-3-3 | まちの美化の推進 | 環境共生課 | ◎ |
| | 5-3-4 | | 持ち去り行為防止対策の推進 | ごみ収集課 | △ | | |

| 基本方針 | 基本施策 | 重点 | 実施手法 | 協働による主な実施手法 | | | | | | | | |
|-------|----------------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------|---------------|-------|-------|-------|-------|---|---|
| | | | | 1-1-1 | 1-1-2 | 1-2-1 | 1-2-2 | 1-3-1 | 1-3-2 | 1-3-3 | | |
| 1 | 市民、事業者との連携を強化し、協働による取組を進めます | 1-1 市民との連携による取組の推進 | 1-1-1 | 3R学習の充実 | | | | | | | | |
| | | | 1-1-2 | 担い手づくりに向けた取組の推進 | | | | | | | | |
| | | 1-2 事業者・各種団体との連携による取組の推進 | 1-2-1 | 飲食店・スーパー・百貨店等の事業者との協働による取組の実施 | | | | | | | | |
| | | | 1-2-2 | スポーツチーム・教育機関等団体との協働による取組の実施 | | | | | | | | |
| | | 1-3 市民や事業者の主体的取組の支援 | 1-3-1 | 地域が行う取組の支援 | | | | | | | | |
| | | | 1-3-2 | 事業者が行う取組の支援 | | | | | | | | |
| 1-3-3 | 各種情報ツールを活用した情報発信 | | | | | | | | | | | |
| 2 | 家庭系ごみの減量を進めます | 2-1 生ごみの減量の推進 | 2-1-1 | 生ごみの発生抑制 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | | | 2-2 プラスチックごみの減量の推進 | ◎ | 2-2-1 | プラスチックごみの発生抑制 | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| | | ◎ | 2-2-2 | プラスチックごみの資源化の推進 | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | |
| | | 2-3 その他の家庭系ごみの減量の推進 | ◎ | 2-3-1 | リデュース・リユースの推進 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | | | 2-3-2 | リサイクルの推進 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2-4 | 家庭系ごみ処理手数料の見直しの検討 | 2-4-1 | 家庭系ごみ処理手数料の見直しの検討 | | | | | | | | | |
| 3 | 事業系ごみの減量を進めます | 3-1 事業系ごみの適正排出の推進 | ◎ | 3-1-1 | 適正排出に向けた取組の推進 | | | | | | ○ | |
| | | | | 3-1-2 | 優良事例の公表・拡大 | | | | | | ○ | ○ |
| | | 3-2 事業系ごみの減量の促進 | | 3-2-1 | 公共施設から排出される事業系ごみの削減 | | | | | | ○ | |
| | | | | 3-2-2 | 事業系生ごみの削減 | | | ○ | ○ | | ○ | |
| | | | | 3-2-3 | 事業系紙類の減量・資源化 | | | | | | ○ | ○ |
| 3-3 | 事業系ごみ処理手数料の見直し検討 | 3-3-1 | 事業系ごみ処理手数料の見直し検討 | | | | | | | | | |
| 4 | 環境に配慮し、適正かつ安全な資源化施設を整備し、資源化に努めます | 4-1 一般廃棄物処理施設の整備 | ◎ | 4-1-1 | 環境に配慮した新しいごみ焼却施設等の整備・運営 | | | | | | | |
| | | | | 4-1-2 | 生ごみのバイオガス化施設の整備・運営 | | | | | | | |
| | | | | 4-1-3 | 資源化施設の整備 | | | | | | | |
| | | 4-2 | 収集体制の整備 | 4-2-1 | 収集体制の見直し | | | | | | | |
| | | 4-3 | 資源の有効活用の推進 | ◎ | 4-3-1 | 資源化の拡大 | | | | | | |
| 5 | 社会的課題への対応強化 | 5-1 災害時等のごみ処理に関する対応力強化 | ◎ | 5-1-1 | 災害時等のごみ処理に関する計画の見直し | | | | | | | |
| | | | | 5-1-2 | 災害時等の教育・訓練 | ○ | | ○ | | ○ | | ○ |
| | | | | 5-1-3 | 応援・受援体制の整備 | | | | | | | |
| | | 5-2 | 超高齢社会の到来に伴うごみに関する問題への対応 | 5-2-1 | 高齢者等に対応した収集体制の検討 | | | | | | | |
| | | 5-3 不適正処理防止対策 | 5-3-1 | 不用品の違法回収防止対策の推進 | | | | | | | | ○ |
| | | | 5-3-2 | 不法投棄防止対策の推進 | | | | | | ○ | | ○ |
| | | | 5-3-3 | まちの美化の推進 | | | | ○ | ○ | | | ○ |
| 5-3-4 | 持ち去り行為防止対策の推進 | | | | | | | ○ | | ○ | | |

| | |
|---------------|-------|
| 実施手法 | 推進主体 |
| 1-1-1 3R学習の充実 | 環境政策課 |

【指標と目標】

【事業計画】

| 指標 | 2023年度目標 | 2023年度実績 | 2023年度の取組方針・内容 |
|-------------------------|----------|----------|---|
| 出前講座 | 100回 | 120回 | 幼児向け出前講座の見直しにより回数は減りますがより効果的な啓発ができるよう内容の検討をします。 |
| 3R公開講座 | 30回 | 36回 | イベントでの3R公開講座を積極的に実施します。 |
| イベント出展 | 20回 | 32回 | 実施地域を市内各地で開催できるようにし、来場者の年齢層等を考慮した啓発を行います。 |
| 主催イベント実施 | 1回 | 1回 | 実施内容や効果を精査して実施します。 |
| キャンペーン実施 | 14回 | 15回 | 夏場暑い時期など生ごみに関心が向く傾向がある等、季節に合った内容のキャンペーンを年間通じて実施します。 |
| 町田市バイオエネルギーセンターでの3R公開講座 | 4回 | 3回 | 事業者と協働して効果的な3R公開講座を実施します。 |
| オンライン講座（新規） | 5回 | 1回 | テーマ別にオンライン講座を行う。（食品ロス、プラスチック、3R、紙など） |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|--|--|
| どのような効果があったのか、ということ測定していく時期にそろそろ差し掛かるのではないかとされる。さらなる取り組みは重要であるが、その効果の測定などについても検討をはじめしてほしい。 | 各種イベントや出前講座等においてサイズダウンや水切り体験キャンペーンを実施しています。頂いたご意見を参考に、これまでの効果について検証を行い、今後の進め方について検討していきます。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | ○ |
| <p>・幼児向け出前講座については、申し込み・実施方法の期間を限定しましたが、昨年度と同等の申し込みがありました。“ものをたいせつにしよう”や“ごはんを残さず食べよう”などをテーマに紙芝居や歌で楽しく学ぶ講座を実施しました。</p> <p>・小学校向け出前講座では、DVDやスライドを使用して“3Rをキーワードにごみを減らそう”をテーマに、町内会・自治会向けでは、講話を中心に“分別してごみを削減”などをテーマに実施し、前年同様の実施数となりました。また、市内の高等学校にも案内文を送付したことで、新たに都立山崎高校、都立町田総合高校、都立成瀬高校で実施することができ、加えて町田第二中学校でも新たに実施することができました（小学校35回、幼稚園・保育園66回、学童保育6回、町内会・自治会9回、中学校1回、高校3回）。</p> <p>・3R公開講座は、イベント主催者と調整し、イベント参加者の世代やイベントの主旨に合わせた内容で、食品ロスの削減、ごみの分別、リサイクルをテーマにした講座を実施しました。</p> <p>・イベント出展は、来場者が多いイベントを中心に、生ごみの水切り体験や、指定収集袋の中から資源化できる物を分別して袋のサイズダウンに挑戦するゲーム等を実施しました。</p> <p>・主催イベントは、10月の3R月間に合わせて実施しました。ごみ減量に興味がない方にも啓発できるよう、ごみ収集車や消防車などの「働く車」の展示や乗車体験等とあわせてごみ減量の周知を実施しました。</p> <p>・キャンペーンは、夏の暑い時期や秋のスポーツシーズンに水分補給やペットボトル削減のためのマイボトルキャンペーンを行い、マイボトル持参者へステッカーの配布を行いました。また、10月には、スーパーマーケットで食品ロス削減キャンペーンを行い、チラシや景品の配布を行いました。</p> <p>・町田市バイオエネルギーセンターでの3R公開講座は、誰にでもできる簡単な行動事例や食品ロス削減の講話、ダンボールコンポストの紹介等ごみの削減・資源化について、清掃工場運営事業者のSPCと協力して開催しました。</p> <p>・オンライン講座は、開催に向けたインターネット通信環境の確認など関係部署と実証実験を行ったうえで3月18日に開催しましたが、募集や周知方法等の課題を見出すことができました。</p> | |

【2024年度の指標と目標】

【2024年度の事業計画】

| 指標 | 2024年度目標 | 2024年度実績 | 2024年度の取組方針・内容 |
|---------------------|----------|----------|---|
| 出前講座 | 120回 | | 幼児や小学生の保護者に向けより効果的な啓発ができるよう内容の検討をします。また、容器包装プラスチック全市収集開始に向けて効果的に周知していきます。 |
| イベント出展 | 30回 | | 市内各地で開催できるよう調整を行い、来場者の年齢層や地域の特性等を考慮した内容で啓発を行います。 |
| 主催イベント実施 | 1回 | | 実施内容や効果を精査して実施します。 |
| キャンペーン実施 | 14回 | | 季節や時期に合わせた内容のキャンペーンを年間を通じて実施します。 |
| 町田市バイオエネルギーセンターでの出展 | 3回 | | 事業者と協働して効果的な3R公開講座を実施します。 |
| オンライン講座 | 2回 | | 市民、事業者向けに食品ロス、プラスチック、ファッションロス、エシカル消費等のテーマを設けて実施します。 |

| | |
|-----------------------|-------|
| 実施手法 | 推進主体 |
| 1-1-2 担い手づくりに向けた取組の推進 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

【事業計画】

| 指標 | 2023年度目標 | 2023年度実績 | 2023年度取組方針・内容 |
|------------------|----------|----------|---|
| ごみ減量サポーターの活動支援 | 5回 | 5回 | 活動アンケート記載事項の結果、ごみ減量サポーターとして何をすればよいかわからないとの意見が散見されました。そのため、2023年4月3日町内会・自治会長宛の推進員の推薦届には、具体的な活動例を写真を入れて送付します。引き続き講演会や啓発資料の送付等を行い、随時どのような支援が必要かをアンケートで聞き取りし、活動支援を実施していきます。 |
| 町田市3R市民リーダーの活動支援 | 3回 | 5回 | 2023年度はイベント出展が増えてくると見込まれるので3R市民リーダーの研修会を実施し、自主的なごみ減量啓発を目指し企画・立案できるようにスキルアップを図ります。また、3R市民リーダーの役割や活動内容をホームページ等に掲載し、活動の周知や理解を図ります。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|--------------------------------|--|
| 町田市3R市民リーダーの位置づけと役割を明確にしてください。 | ごみ減量サポーターは、自治会町内会より推薦を受け、市が委嘱し地域でのごみ減量の活動の中心となっていた方です。 町田市3R市民リーダーは公募によりイベントなどごみ減量啓発の担い手になっていただく方です。 町田市3R市民リーダーは、将来的には、ごみ減量の啓発を自主的に進められるよう養成に努めているところです。 市職員と市民リーダーとが関係してのごみ減量啓発活動が足りないと考えております。最終的には市民リーダーが自主的に企画運営できることを目指しています。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|--|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | |
| <p>・ごみ減量サポーターの活動支援として、以下の取組を実施しました。</p> <p>5月：ごみの分別による火災事故防止の啓発のお願いについて、活動の参考としていただくため、チラシを送付しました。</p> <p>7月：全体連絡会を実施し、ごみ減量サポーターがどのような活動をすればよいのかを重点に説明を行いました。また、地域の方に向けた施設見学会を企画いただくため、全体連絡会後に町田市バイオエネルギーセンターの施設見学会を実施しました。</p> <p>9月：ごみ減量サポーターを対象に、節約アドバイザーを講師に招いて、「お財布に優しい3R講座」をテーマとした講演会を開催しました。買い物を通してできる環境問題への取り組みなど、身近にできる内容の講演会としました。</p> <p>1月：ごみの適切な分別による火災発生防止の周知のため、ごみ情報誌「ごみナクナーレ」特別号を送付しました。</p> <p>2月：活動報告書とアンケートを送付し、アンケートの回答では市からの必要な活動支援内容として、「ごみ減量サポーターの市民への認知度の向上」と「定期的な回覧物の送付」を、サポーターの方々が最も望んでいるという結果を得ました。</p> <p>・3R市民リーダーの活動支援として、「リユースフェス（4月）」、「まち2フェス（9月）」、「ECO to フェスタ（3月）」、「木曾山崎センターまつり（3月）」、「キンダーパーティ（3月）」の各イベントに出展し、リサイクル変身ボックスや分別釣りゲームなどのごみ減量・資源化の啓発ブースの運営を任せて、3R市民リーダー自身が自主的に啓発活動が実施できるよう支援を行いました。</p> | |

【2024年度の指標と目標】

【2024年度の事業計画】

| 指標 | 2024年度目標 | 2024年度実績 | 2024年度取組方針・内容 |
|------------------|----------|----------|---|
| ごみ減量サポーターの活動支援 | 5回 | | ごみ減量サポーターがサポーターとしての活動内容について理解し、ごみの減量・資源化の情報や周知が必要な情報を町内会・自治会内等で回覧や配布していただけるように働きかける必要があります。2023年度の活動報告書とアンケートの結果を踏まえて、2024年度はごみ減量サポーターの市民への認知度向上を図り、ごみ減量サポーターがより誇りをもって活動できるよう動機づけを図ります。また、容器包装プラスチックの市全域での分別収集開始に向け、ごみ減量サポーターに分別収集に関する案内等の送付と周知依頼を行い、分別収集開始の市民周知の一助となるよう講じます。 |
| 町田市3R市民リーダーの活動支援 | 6回 | | イベントに参加してもらうだけでなく、企画の段階から参加してもらい、自主性を持って啓発活動ができるように支援します。 |

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 実施手法 | 推進主体 |
| 1-2-1 飲食店・スーパー・百貨店等の事業者との協働による取組の推進 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

【事業計画】

| 指標 | 2023年度目標 | 2023年度実績 | 2023年度取組方針・内容 |
|--------------------------|----------|----------|--|
| リサイクル推進店と協働して行うキャンペーンの展開 | 5回 | 7回 | 10月の食品ロス削減月間や年末年始の「まちだ☆おいしい食べきりキャンペーン」などさらに食品ロス削減の強化を図ります。 |
| 食べきり協力店制度の認知 | 随時 | 随時 | 引き続き、まちだ☆おいしい食べきり協力店の主旨、制度などを飲食店、小売店等にPRし、主体的に取り組んでいただく店舗の増加を目指すとともに、各店舗の取組を市民にPRし認知してもらうことで、食べきり協力店に認定されることを小売店等がメリットと感じられることを目指します。また、町田市商工会議所の協力を得ながら事業を進めます。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|------------|------|
| 該当なし | |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|--|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | ○ |
| <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル推進店と協働して行うキャンペーンとしては、味の素株式会社及び株式会社三和と連携し、皮までおいしく食べきる「かわいいレシピ」を発行し、7月からスーパー三和等の店頭や公共施設で配布しました。また、10月の食品ロス削減月間では、市内5か所の店舗と協働し、食品ロス削減キャンペーンとして、チラシや景品の配布を行いました。年末年始には「まちだ☆おいしい食べきりキャンペーン」を行い、リサイクル推進店等でポスターの掲示を行いました。 ・食べきり協力店の制度の認知度の向上のため、新規に登録いただいた2店舗を、X（旧Twitter）、Instagram、YouTubeで紹介しました。 ・新たに協定を結んだフードシェアリングサービス「TABETE」の登録店舗へ働きかけを行い、食べきり協力店を6店舗増やすことができました。これにより、登録店舗は16店舗になりました。 | |

【2024年度の指標と目標】

【2024年度の事業計画】

| 指標 | 2024年度目標 | 2024年度実績 | 2024年度取組方針・内容 |
|--------------------------|----------|----------|---|
| リサイクル推進店と協働して行うキャンペーンの展開 | 6回 | | 引き続き、リサイクル推進店と協働した効果的な食品ロス削減のキャンペーンや容器包装プラスチック分別回収に向けた周知等の手法について検討していきます。 |
| 食べきり協力店制度の認知 | 随時 | | 新たに登録いただいた店舗を中心に市民の方々に認知していただけるようSNSやごみ情報誌「ごみナクナーレ」で周知します。 |

| | |
|-----------------------------------|-------|
| 実施手法 | 推進主体 |
| 1-2-2 スポーツチーム・教育機関等団体との協働による取組の推進 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

【事業計画】

| 指標 | 2023年度目標 | 2023年度実績 | 2023年度取組方針・内容 |
|------------------|----------|----------|--|
| ホームタウンチームと連携した取組 | 3回 | 4回 | 引き続きマイボトルキャンペーンなどホームタウンチームと連携して取り組みます。 |
| 大学と連携した取組 | 2回 | 2回 | マイボトルOK店や分別アプリについて麻布大学、桜美林学園と周知方法や啓発方法を研究します。また協働でイベントを行い、若い世代のごみ減量意識の向上を図ります。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|------------|------|
| 該当なし | |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | ○ |
| <p>・ホームタウンチームと連携した取組として、8月にペスカドーラ町田ホームゲーム（町田市立総合体育館）でマイボトルキャンペーンを行いました。また、町田市バイオエネルギーセンターにおいて、FC町田ゼルビアとの協働による古紙回収会を3回実施しました。</p> <p>・大学と連携した取組として、ごみ分別アプリの使い勝手の向上をテーマに、8月と9月に桜美林大学の教授との意見交換、10月と11月に桜美林大学リベラルアーツのゼミにおいて学生の意見聴取を行い、その内容を踏まえて、アプリの画面表示や内容などの更改を行いました。</p> | |

【2024年度の指標と目標】

【2024年度の事業計画】

| 指標 | 2024年度目標 | 2024年度実績 | 2024年度取組方針・内容 |
|------------------|----------|----------|--|
| ホームタウンチームと連携した取組 | 15回 | | 引き続き古紙回収会の毎月1回の定期開催や、マイボトルキャンペーンなどホームタウンチームと連携して取り組みます。 |
| 大学と連携した取組 | 2回 | | 若い世代に対するごみ減量意識の向上に向け、リチウムイオン電池や容器包装プラスチック等の分別の啓発について、連携して取り組みを進めていきます。 |

| | |
|------------------|-------|
| 実施手法 | 推進主体 |
| 1-3-1 地域が行う取組の支援 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

【事業計画】

| 指標 | 2023年度目標 | 2023年度実績 | 2023年度の取組方針・内容 |
|--------------|----------|----------|--|
| 地域リサイクル広場の推進 | 3回 | 4回 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係る影響が軽減すると予測される中、市と地域リサイクル広場開催の協定を結んでいる団体に対し、開催の支援・情報提供等を通じて、地域リサイクル広場の開催を促します。 ・地域リサイクル広場の認知度の向上を高め、新規に地域リサイクル広場を開催する団体を模索します。 |
| 生ゴミ資源化団体の支援 | 周知・支援 | 情報収集 | 資源化団体と協定については、協定締結から年月が経過していることから、必要な支援について団体と話し合い、協定に基づく支援等について見直しを行います。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|----------------------------|---|
| 生ゴミ資源化団体との継続的な情報共有を進めてほしい。 | コロナ禍で活動が縮小していた団体もあったようです。団体と情報共有に努めていきます。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|--|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | ○ |
| <p>・地域リサイクル広場の推進については、新規開催団体の増加に向けて、次の活動を実施しました。</p> <p>5月及び2月に、新規に地域リサイクル広場の開催を希望する団体に対し、体験リサイクル広場を実施し、リサイクル広場の運営を学ぶ機会を設けました（計2団体）。</p> <p>7月に、ごみ減量サポーターに向け実施した全体連絡会において、活動の好事例として、地域リサイクル広場を開催している団体を紹介し、サポーター自身の地域での開催を検討してもらうよう案内しました。</p> <p>1月に、地域リサイクル広場を開催する団体の募集案内を記載したパンフレットを作成しました。</p> <p>その他、既に地域リサイクル広場の協定書を結んでいる8団体に対し、チラシの作成や開催にあたっての連絡調整、景品の調達等の支援を行いました。</p> <p>・生ゴミ資源化団体の支援について、定期的に発行されている活動報告の会報や電話で団体の取組み状況を確認しました。2023年度については協定に基づく消耗品等の支援の依頼はありませんでした。</p> | |

【2024年度の指標と目標】

【2024年度の事業計画】

| 指標 | 2024年度目標 | 2024年度実績 | 2024年度の取組方針・内容 |
|----------------------|----------|----------|--|
| 地域リサイクル広場の推進に向けた取り組み | 4回 | | ごみ減量サポーターの活動やリサイクル広場のパンフレットを通じて、地域リサイクル広場の新規募集について周知し、開催団体の増加を図ります。新規申込団体には、体験リサイクル広場等を通じて、安心して自主的な開催が出来るよう支援していきます。 |
| 生ゴミ資源化団体の支援 | 見直し | | 協定締結から年月が経過していることから、協定に基づく支援等について、団体と話し合いのうえ、協定書の見直しを行います。 |

| | |
|-------------------|-------|
| 実施手法 | 推進主体 |
| 1-3-2 事業者が行う取組の支援 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

【事業計画】

| 指標 | 2023年度目標 | 2023年度実績 | 2023年度の取組方針・内容 |
|------------|----------|----------|--|
| フードドライブの周知 | 周知 | 25回 | 大規模事業所立入り時に周知していきます。 |
| 企業CSRの周知 | 周知 | 6回 | まちだ3R賞が事業所にとって魅力ある賞になるよう、継続して周知していきます。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|--|
| 事業者のフードドライブの活用や、「まちだ3R賞」への応募を積極的に指導して下さい。 | フードドライブの活用や、「まちだ3R賞」の応募について事業者へさらに勧めていきます。 |

【評価】

| | | |
|---|-------|---|
| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | ○ |
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>・大規模事業所への立入り時に、フードドライブや「まちだ3R賞」への応募について周知しました。特に、多くの事業所では期限が近くなった災害備蓄食品を職員へ配付していますが、職員配布だけで活用しきれない分についてはフードドライブで活用できるように案内しました。</p> <p>・企業CSRの周知については、昨年度まちだ3R賞を受賞した4事業所の取り組みについて、町田市ホームページ、広報まちだ、ごみ情報誌「ごみナクナーレ」、ごみカレンダー、SNSで周知するとともに、今年度受賞した9事業所に対し、まちだECOtoフェスタで賞状贈呈式を行い幅広く周知することができました。</p> | | |

【2024年度の指標と目標】

【2024年度の事業計画】

| 指標 | 2024年度目標 | 2024年度実績 | 2024年度の取組方針・内容 |
|------------|----------|----------|--|
| フードドライブの周知 | 周知 | | 引続き大規模事業所立入り時に、有用な情報を提供できるよう周知していきます。 |
| 企業CSRの周知 | 周知 | | 企業CSRについては、3R賞を受賞した団体の取り組みを周知するとともに、他に良い取り組みをしている事業者の情報を収集してSNSなどで周知します。 |

| | |
|------------------------|-------|
| 実施手法 | 推進主体 |
| 1-3-3 各種情報ツールを活用した情報発信 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

【事業計画】

| 指標 | 2023年度目標 | 2023年度実績 | 2023年度の取組方針・内容 |
|---------------------|----------|----------|---|
| SNS等による情報発信 | 210回 | 512回 | 内容を精査しながら年間を通じて随時発信します。 市民にごみの分別やごみの減量方法が分かりやすく伝わるよう、役立つ情報を発信します。 SNS192回、分別アプリインフォメーション12回、YouTube6回 |
| まちだごみ情報誌「ごみナクナーレ」発行 | 2回 | 2回 | 市民や団体、事業者のごみ減量、3R推進に関する優れた取り組みを取り上げて、広く周知します。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|--|
| ごみ分別アプリは、市民の分別精度を向上できる可能性がある。アプリでの情報提供も行われており、活用する市民の増加が望まれる。これまで以上に、積極的な活用（およびダウンロード）を市民に周知していただきたい。 | さらに使いやすいアプリにするよう事業所・教育機関などと連携して、様々なイベント等でPRして行きたいと考えております。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | |
| <p>・季節に応じた内容（今日は何の日になんだごみ減量内容）や協力団体（食べきり協力店）のPRなど継続的な情報発信を行いました。また、庁内で連携し、保険予防課のInstagramにおいても、食品ロス削減について情報発信を行いました。 （SNS454回、分別アプリインフォメーション27回、YouTube10回、ハスのんInstagram15回、食のわInstagram6回）</p> <p>・ごみ情報誌「ごみナクナーレ」9月15日号では、リサイクル広場の紹介と災害廃棄物処理等に関する協定を締結した29事業者の紹介などを行いました。また、11月に発生した町田市バイオエネルギーセンターの火災を受け、適切な分別による火災発生防止に特化した内容の特別号を12月25日に発行しました。</p> | |

【2024年度の指標と目標】

【2024年度の事業計画】

| 指標 | 2024年度目標 | 2024年度実績 | 2024年度の取組方針・内容 |
|---------------------|----------|----------|---|
| SNS等による情報発信 | 210回 | | 市民の方々がごみの減量・資源化について、具体的な方法や身近な内容等、関心を持てるような内容の発信を引き続き行います。 2023年度は、市民から応募された「もったいないことしま川柳」について、ごみ減量・資源化のコメントを添えて1件ずつSNSで紹介していましたが、投稿が多くなりすぎてしまい、他の情報が埋もれてしまったため、内容別に分類してまとめて投稿するなどより効果的な発信となるよう方法を見直します。 |
| まちだごみ情報誌「ごみナクナーレ」発行 | 2回 | | 市民の方々に「紙面を手にとってもらえること」を意識した紙面構成を図ります。ごみの減量・資源化の記事に加え、その時々々の環境行政に応じた情報を伝えられるよう柔軟な紙面作成をいたします。 |

| | |
|----------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 2-1-1 生ごみの発生抑制 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| 指標①-1 | 食品ロスの削減を総合的に推進する取組 | | | | | |
|-------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 |
| 実績値 | — | 2回 | 2回 | 5回 | | |

| 指標①-2 | 補助金を申請した家庭用生ごみ処理機の利用台数（累計） | | | | | |
|-------|----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 1,200台 | 1,400台 | 1,600台 | 2,100台 | 2,400台 |
| 実績値 | 773台 | 1,278台 | 1,525台 | 1,825台 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 | |
|--|--|
| ①-1・（仮称）食品ロス削減推進計画を策定します。また、計画に位置付けた施策について、庁内関連部署や民間事業者と連携し、取組を実施していきます。 | |
| ①-1・食品ロスの削減を総合的に推進する体制づくりを目指し、より多くの市民がフードドライブに参加できるように、市内施設での常設窓口の拡充を目指します。 | |
| ①-1・引き続き食品ロス削減について、バスでのデジタルサイネージでの広告を行います。 | |
| ①-1・民間の企業と協働して、食品ロス削減の啓発を行います。 | |
| ①-2・家庭用生ごみ処理機等購入費補助制度について、生ごみ処理機取扱い店舗の情報を収集し、引き続き周知協力店を増やしてPRを強化することで、家庭用生ごみ処理機等購入費補助制度の利用を推進します。 | |
| ①-2・生ごみ処理機等購入補助制度利用者からいただいたアンケート結果から、購入者のほとんどが戸建住宅にお住まいの方のため、集合住宅にお住まいの方が生ごみ処理機等を利用できる方法を検討します。また、一次生成物を燃やせるごみに出している方が半数ほどいるため、市で回収及びたい肥化する方法を検討します。 | |
| ①-2・家庭用生ごみ処理機でどのぐらいごみの減量になるか数値化し、ホームページなどで公表します。 | |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|--|---|
| 生ごみ処理機について、可能なら電力消費のない、段ボールコンポストなどの活用を重点的に行ってほしい。ごみ減量と脱炭素との両立。 | ダンボールコンポストも利用いただけるよう、広報誌などで紹介します。ダンボールコンポストを体験していただける無料の講習会について、多くの方に参加していただけるよう周知していきます。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | ◎ |
|--|-------|---|
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>①-1・8月に「町田市食品ロス削減推進計画」を策定しました。</p> <p>①-1・環境月間の取組として、6月19日から23日までの期間、市庁舎イベントスタジオにて、食品ロス削減に関する展示を実施しました。</p> <p>①-1・12月にフードドライブの市内施設での常設窓口を新たに2か所（南市民センター、成瀬コミュニティセンター）開設し、計5か所になりました。</p> <p>①-1・12月からフードシェアリングサービス「TABETE」を導入しました。導入にあたって「TABETE」の運営会社である株式会社コックッキングと協定締結しました。</p> <p>①-1・バスでのデジタルサイネージは、12月から1月の期間に、家庭や飲食店で忘・新年会での作りすぎや食べ残しの削減を呼びかける動画を放映しました。</p> <p>①-1・民間の企業との協働として、味の素株式会社及びスーパー三和と連携し、皮までおいしく食べきる「かわいいレシピ」を発行し、スーパー三和等の店頭や公共施設にて配布しました。</p> <p>①-2・家庭用生ごみ処理機等購入補助制度の利用促進のため、イベント出展時の啓発やSNSでの周知を行いました。</p> <p>①-2・家庭用生ごみ処理機等購入補助制度やダンボールコンポストの紹介、講習会案内を「ECOまちだ」6月15日号で周知しました。</p> <p>①-2・家庭用生ごみ処理機等からできる一次生成物の市による回収について検討しましたが、引き取り先が確定できず実現していません。</p> <p>①-2・生ごみ処理機の減量効果を数値化し、ホームページで公表しました（4人家族で乾燥式の生ごみ処理機を使用した場合、年間約174kgのごみ減量）。補助金を申請した家庭用生ごみ処理機の利用台数は、300台の申請があり、昨年度より53台多くなっています。</p> | | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 | |
|---|--|
| ①-1・家庭で発生した食品ロスの種類や量などを一定期間記録することで、家庭で発生する食品ロスの量を見える化し、食品ロスがなくなった場合のCO2削減量や捨ててしまった食材を購入するのに掛かった食費の計算ができる「食品ロス削減ダイアリー」を作成し配布いたします。 | |
| ①-1・これまで啓発が行き届いていない若年層に向けて、食品ロスの削減やプラスチックの資源循環等を啓発するイベントを実施します。 | |
| ①-1・引き続き、食品ロス削減について、バスでのデジタルサイネージでの広告を行います。 | |
| ①-2・家庭用生ごみ処理機等購入費補助制度について、生ごみ処理機取扱い店舗の情報を収集し、引き続き、周知協力店を増やしてPRを強化することで、家庭用生ごみ処理機等購入費補助制度の利用を推進します。 | |
| ①-2・生ごみ処理機等購入補助制度利用者からいただいたアンケートの結果によると、購入者の多くが電動式を購入し、生ごみを乾燥・減量させて、燃やせるごみとして出しています。生ごみ処理で出た一次生成物を燃やせるごみに出さずに、市で回収及びたい肥化する方法を引き続き検討します。 | |
| ①-2・家庭用生ごみ処理機やダンボールコンポストでどのぐらいごみの減量になるか数値化し、引き続きホームページなどで公表します。 | |

| | |
|---------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 2-2-1 プラスチックごみの発生抑制 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| | | | | | | |
|-------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 指標①-1 | 使い捨てプラスチック代替品に関する情報発信回数 | | | | | |
| 年 度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 5回 | 10回 | 13回 | 17回 | 20回 |
| 実績値 | — | 5回 | 5回 | 10回 | | |
| 指標①-2 | マイボトルが利用できる店舗数（累計） | | | | | |
| 年 度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 32店 | 35店 | 40店 | 45店 | 50店 |
| 実績値 | 31店 | 31店 | 31店 | 29店 | | |

【事業計画】

| |
|--|
| 2023年度取組方針・内容 |
| <p>①-1・使い捨てプラスチック代替品についての啓発手段については、ごみ分別アプリ、ホームページ、Twitter、Instagramを主体の媒体として情報発信していきます。内容については、「使い捨てプラスチックをもらわない」をテーマにした情報発信を新たにいきます。</p> <p>①-2・マイボトルの利用促進およびペットボトル等のプラスチックごみの削減を推進するため、マイボトル専用給水器の使用量および温室効果ガス削減量をホームページで公開し、給水器使用による削減効果の周知を図ります。</p> |

【審議会からの意見】

| | |
|---|----------------------------|
| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
| ①-2 マイボトルOK店について、店舗数も伸びていないので、商工会議所経由で会員事業者に協力を呼びかけていただくなど、追加の対応が必要ではないでしょうか。 | 商工会議所様など各種団体に協力を呼びかけていきます。 |

【評価】

| | | |
|---|-------|---|
| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | △ |
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>①-1・プラスチック製品の使用削減のため、代替品に関する周知としてSNSで「ペットボトルを使わずマイボトルを持ちましょう」や「マイボトルキャンペーンの実施」という内容を発信しました。</p> <p>①-1・7月に、オリジナルマイボトルの工作会、プラスチックごみ削減をテーマにしたの学習会、市で回収したプラスチックの資源化中間処理施設見学を一緒にした親子向け講座を開催し37名（小学生20名、保護者17名）が参加され、プラスチックごみの発生抑制の啓発を行いました。講座後のアンケートでは、参加者の95%方から、参加してよかったとの回答がありました。また、多くの参加者から今後、マイバックの持参やプラスチックの分別・資源化など、プラスチックごみ削減の取り組みを行っていききたいとの回答がありました。</p> <p>①-2・マイボトルが利用できる店舗については、商工会議所や青年会議所と情報共有を行いました。新規登録はなく、2店舗が閉店したため、計29店舗となりました。</p> <p>①-2・マイボトルの利用促進及びペットボトル等のプラスチックごみの削減を推進する取組として、2022年度にウォータースタンド(株)と「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」を締結し、市内公共施設にマイボトル専用給水器を設置しています。2023年度は、新たに生涯学習センター（7月）及び高齢者福祉センターふれあいくぬぎ館（8月）へ給水器を設置し、市内公共施設への設置は13台となりました。</p> <p>①-2・市内施設に設置したマイボトル専用給水器の2023年度の使用量（推計値）は、約50,500リットル（500mlペットボトル約10.1万本分）でした。同数のペットボトルを使用し焼却処分された場合と比較すると、CO2削減効果は約7t-CO2でした。</p> <p>・道路や公園等の公共施設を清掃した際に使用できるボランティア袋について、原材料にバイオマスプラスチックを25%使用した新しい袋へ変更しました。2023年度は24万9千枚のボランティア袋を購入しており、同数のバイオマスプラスチック未使用の袋が焼却処分された場合と比較すると、CO2削減効果は3.28t-CO2でした。</p> | | |

【2024年度の事業計画】

| |
|---|
| 2024年度取組方針・内容 |
| <p>①-1・使い捨てプラスチック代替品に関する情報発信を行います。</p> <p>①-2・マイボトルが利用できる店舗については、マイボトルに提供いただける店舗だけでなく、給水スポットの情報提供も合わせて行い、マイボトルの利用促進につながる事業所等を周知していきます。</p> <p>①-2・マイボトルの利用促進およびペットボトル等のプラスチックごみの削減を推進するため、マイボトル専用給水器の使用量および温室効果ガス削減量をホームページで公開し、給水器使用による削減効果の周知を図ります。</p> |

| | |
|-----------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 2-2-2 プラスチックごみの資源化の推進 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 容器包装プラスチック分別協力率（収集地域） | | | | | | |
|-----|-----------------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 27% | 30% | 33% | 36% | 40% |
| 実績値 | | 24% | 37% | 36% | 35% | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|--|
| <p>①・プラスチック全般についてや、分かりにくい容器包装プラスチックの分別について、その時々々の旬な情報を取り入れることに留意して、説明会、出前講座等を通じて周知を図ります。</p> <p>①・収集した容器包装プラスチックのリサイクルについて周知を図ることで、分別意欲の向上を図ります。</p> |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|--|
| <p>便利なゴミ分別アプリがあるのでこれの活用をしてもらうことが推進が進むと思います。ダウンロードだけ件数でなく、利用状況を知ること重要。</p> | <p>ゴミ分別アプリについてのアンケート調査なども実施していきます。引き続き利用者の利便性の向上に向け頂いたご意見を参考に検討していきます。</p> |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | |
| <p>①・容器包装プラスチックの分別協力率について、1月に多摩26市へ調査を実施いたしました。</p> <p>①・容器包装プラスチックの暫定処理について検討を行い、2026年度から市全域での収集・資源化の方針を定めました。</p> <p>①・プラスチック3R講座を実施し、実際に町田市で回収した製品プラスチックやペットボトルの資源化中間処理施設を見学する機会を設け、分別の大切さを周知しました。</p> <p>②・容器包装プラスチックの分別回収を実施しているJR横浜線以南地域で出前講座を2回開催し、分かりにくい容器包装プラスチックの分別をはじめ、プラスチック全般について周知しました。</p> | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|--|
| <p>①・2026年度からの容器包装プラスチックの市全域での収集・資源化に向けて、効率的な運搬方法の検討や市民向け周知啓発の準備を進めます。</p> <p>①・これまで啓発が行き届いていない若年層に向けて、食品ロスの削減やプラスチックの資源循環等を啓発するイベントを実施します。</p> <p>①・JR横浜線以南の地域で容器包装プラスチックの中間処理を実施しているリレーセンターみなみなどの施設見学や講座等を行い、容器包装プラスチックをはじめとしたプラスチックごみの分別と資源化について、市民への啓発を行います。</p> <p>②・2026年度からの容器包装プラスチックの市全域での収集・資源化の開始に向けて、市民に対し、より効果的な周知ができるよう出前講座やSNSなどでの発信を強化します。</p> |

| | |
|---------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 2-3-1 リデュース・リユースの推進 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| | | | | | | |
|-------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------|--------|
| 指標①-1 | リデュースに関する情報提供回数 | | | | | |
| 年 度 | 2019年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 4回 | 8回 | 12回 | 16回 | 20回 |
| 実績値 | 2回 | 4回 | 9回 | 22回 | | |
| 指標①-2 | リユースにつながる取組の実施回数 | | | | | |
| 年 度 | 2019年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 3回 | 4回 | 6回 | 8回 | 10回 |
| 実績値 | 3回 | 13回 | 14回 | 12回 | | |
| 指標①-3 | 粗大ごみのうち再生販売した重量 | | | | | |
| 年 度 | 2019年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 75 t | 150 t | 100 t | 125 t | 150 t |
| 実績値 | 74t (5,767点) | 57t (4,735点) | 76t (6,119点) | 83t (6,065点) | | |

【事業計画】

| |
|--|
| 2023年度の取組方針・内容 |
| <p>①-1・SNS,YouTube配信では計画的にテーマ別に発信を行います。</p> <p>①-2・子ども用リユース品事業の実施や「まちエコフリーマーケット」実施の支援について、引き続き行います。</p> <p>①-3・粗大ごみ再生販売については、引き続き広報誌やジモティー掲示板を利用して周知を進めます。また、さらに民間の力を利用した粗大ごみの削減に努めます。</p> |

【審議会からの意見】

| | |
|--|------------------------|
| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
| 粗大ごみの再生販売で株式会社ジモティーと協定を結んでどのような物が販売されているのか見れるようになったのは良いと思いますが、市民への周知が足りないと思われます。 | 効果的な周知方法等について検討していきます。 |

【評価】

| | | |
|--|-------|---|
| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | ○ |
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>①-1・リデュースに関する情報発信は、食品ロスの削減を中心に配信を行いました。</p> <p>①-2・まちエコフリーマーケットの開催（3回）を支援しました。また、10月から12月にベビー用品リユースの回収会5回と配布会4回を子どもセンターや市民センターで開催しました。</p> <p>①-2・更なるリユースの促進を図り、家庭から出るごみの減量を推進するため、不要品一括査定サイト「おいくら」を運営する株式会社マーケットエンタープライズとリユース事業に関する協定を2024年3月29日に締結し、新たな取組みを開始しました。家庭から出た不要品を一括査定をし、登録のリユース業者が買取ることによって「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢を増やし、ごみの削減と市民のリユース意識の醸成に向けた取組みです。</p> <p>①-3・粗大ごみの再生販売は、販売店舗が1か所となりましたが、日曜日の営業を開始したことやジモティー掲示板に商品を掲載したことなどで7t増加しました。また、ごみ情報誌「ごみナクナレ（4月1日号）」とSNSにて、粗大ごみ再生販売の商品をジモティー掲示板で閲覧できることを周知しました。</p> | | |

【2024年度の事業計画】

| |
|---|
| 2024年度の取組方針・内容 |
| <p>①-1・計画的にテーマ別にSNS、YouTube配信を行います。</p> <p>①-2・子ども用リユース品事業の実施や「まちエコフリーマーケット」実施の支援を引き続き行います。</p> <p>①-3・粗大ごみ再生販売については、引き続き広報誌やジモティー掲示板を利用して周知を進めます。また、更なるリユースの推進を図るため、清掃工場に持ち込まれる前にリユースする仕組みとして、不要品一括査定サイト「おいくら」の活用を積極的に市民に周知していきます。</p> |

| | |
|----------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 2-3-2 リサイクルの推進 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| | | | | | | |
|-----|------------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|---------|---------|
| 指標① | 雑がみの分別に関する情報提供回数 | | | | | |
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 5回 | 10回 | 13回 | 17回 | 20回 |
| 実績値 | 5回 | 7回 | 13回 | 7回 | | |
| 指標② | リサイクル広場来場者数 | | | | | |
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 31,000人 | 32,000人 | 33,000人 | 34,000人 | 36,000人 |
| 実績値 | 30,329人 (104,178kg) | 19,250人 (84,025kg) | 25,904人 (94,831kg) | 24,367人 (100,679kg) | | |
| 指標③ | 小売店独自の店頭回収の情報提供回数 | | | | | |
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 4回 | 8回 | 12回 | 16回 | 20回 |
| 実績値 | - | 0回 | 0回 | 2回 | | |

【事業計画】

| |
|---|
| 2023年度の取組方針・内容 |
| <p>①・雑がみの分別については、メモ用紙などに資源化できることなどを引き続き各種媒体を使って周知を図ります。</p> <p>②・リサイクル広場については、より目につくようにパンフレットのデザインを一新します。またごみ減量サポーターを通じて各町内会・自治会への周知を行います。広報媒体を使った情報発信については、「リサイクル広場では指定収集袋に入れなくても無料で対象品目を持ち込めること」、SDGsへの関心が高まる社会情勢の中、「リサイクルを通じて将来の地球にやさしい広場であること」を明記します。</p> |

【審議会からの意見】

| | |
|--|--|
| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
| <p>小売店独自の店頭回収の情報発信を実施できるように努めてほしい。また、その際には店頭回収に参加する市民側のマナーについても広報していただきたい。</p> | <p>小売店の独自の取組について、情報収集できる仕組みが必要であると認識しています。商工会議所様など各種団体にご相談していきたいと考えています。情報発信の際には市民のマナーについても配慮していきます。</p> |

【評価】

| | | |
|--|-------|---|
| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | △ |
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>①・雑がみの分別に関して、SNS、出前講座、4月発行の「資源とごみの出し方ガイド」、ごみ情報誌「ごみナクナーレ」9月15日号、9月に全戸配布した「資源とごみの収集カレンダー」を活用して情報提供を行いました。また、転入手続きをされた際に、雑がみ袋の配布やイベント出展で分別の啓発を行いました。</p> <p>②・7月21日のごみ減量サポーターを対象とした全体連絡会で、リサイクル広場について紹介しました。また、9月15日発行のまちごみ情報誌「ごみナクナーレ」で、市民のメリットとして、対象品目を無料で持ち込めることなどを改めて紹介する記事を掲載しました。記事掲載後は、常設のリサイクル広場の来場者が、発行の前々2週間の比較で1日平均35人から45人に10人増加しました。また、パンフレットのデザイン・記載項目を精査し、回収品目の追加に加えて、地域リサイクル広場を開催する団体の募集案内を記載しました。</p> <p>③・小売店独自の店頭回収の情報提供として、ペットボトルや缶の回収機器を設置し、ポイントの付与をしている2店舗について、SNSで紹介しました。</p> | | |

【2024年度の事業計画】

| |
|--|
| 2024年度の取組方針・内容 |
| <p>①・リサイクルの推進を図るため、引き続き、各種媒体を活用して周知していきます。</p> <p>②・リサイクル広場の周知について、来場者を増やすため、リサイクル広場のパンフレットを新たに図書館や子どもセンターをはじめとした市内の公共施設に布置します。</p> <p>③・小売店独自の取組の情報収集方法について、リサイクル推進店の回収ボックス点検報告をもとに各店舗に確認を行い、利用促進を含め市民に情報発信します。</p> |

| | |
|-------------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 2-4-1 家庭系ごみ処理手数料の見直しの検討 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 検討の実施 | | | | | | |
|-----|-------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 情報収集 見直しの検討 | 情報収集 見直しの検討 | 情報収集 見直しの検討 | 情報収集 見直しの検討 | 見直し (完了) |
| 実績値 | | — | 情報収集 見直しの検討 | 情報収集 見直しの検討 | 情報収集 見直しの検討 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・ごみの減量化と資源化率向上、ごみ処理費用負担の公平化のため、町田市では2005年より指定収集袋制による家庭系ごみの有料化を実施しています。社会情勢等を踏まえたごみ袋の価格水準の妥当性の分析を行うとともに、周辺自治体の手数料等について情報収集を行います。</p> |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|------------|------|
| 該当なし | |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | ○ |
|--|-------|---|
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>①・周辺自治体の手数料について情報収集を行いました。多摩地域では全26市が有料化を導入しており、2023年度において料金改定を行った自治体はありません。そのため、26市平均のごみ処理手数料は1.79円/ℓで変更はなく、町田市の手数料1.6円/ℓは、平均と比較して安くなっています。また、多摩地域以外の近隣市でも変更ありません。</p> <p>①・多摩26市の1人1日あたりの燃やせるごみ収集量と燃やせるごみ・容器包装プラスチックごみ袋の手数料との相関関係を調査し、明確な相関関係はみられないとの分析結果を得ました。</p> | | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・ごみの減量化と資源化率向上、ごみ処理費用負担の公平化のため、町田市では2005年より指定収集袋制による家庭系ごみの有料化を実施しています。社会情勢等を踏まえたごみ袋の価格水準の妥当性の分析を行うとともに、周辺自治体の手数料等について情報収集を行います。</p> |

| | |
|---------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 3-1-1 適正排出に向けた取組の推進 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| | | | | | | |
|-------|----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 指標①-1 | 指導の回数（大規模事業所、搬入物検査に基づくもの等） | | | | | |
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 120 回 | 130 回 | 130 回 | 130 回 | 130 回 |
| 実績値 | 125 回 | 94回 | 75回 | 337回 | | |
| 指標①-2 | 講習会の回数（排出事業者向け、許可業者向け） | | | | | |
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 |
| 実績値 | 2回 | 2回 | 3回 | 6回 | | |

【事業計画】

| |
|--|
| 2023年度取組方針・内容 |
| <p>①-1・計画的に大規模事業所への立入り指導を実施し、より効果的な指導・啓発ができるよう取組んでいきます。また、廃棄物処理に関する有用な情報が提供できるよう努めていきます。一般廃棄物と産業廃棄物の区別を理解していない事業者がいることから、根気強く指導を継続していきます。</p> <p>①-2・大規模事業所立入り時に廃棄物処理等に関する研修の案内を継続し、実際に研修を行っていただけるよう周知していきます。また、収集運搬許可更新の年にあたるので、廃棄物講習会時にわかり易い説明ができるようにしていきます。</p> |

【審議会からの意見】

| | |
|--------------------------------------|--|
| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
| 内容物検査で、不適性排出が認められた事業者に対する指導を強化して下さい。 | 内容物検査は毎日実施しており、不適正排出が認められた時には即日電話にて指導を行っています。 また、改善がみられない事業所に対しては、直接訪問をして指導を行っています。 |

【評価】

| | | |
|---|-------|---|
| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | ◎ |
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>①-1・大規模事業所への立入りとして、60事業所への訪問を行い、廃棄物処理や資源化の状況について現状確認を行いました。また、清掃工場内において、毎日内容物検査を実施しており、収集業者からのヒアリングで不適正排出が認められた事業所に対して、即日電話による指導を189回行いました。さらに、ごみ収集時や市民などからの電話による不適正排出の指摘に対する事業所に対して、電話による指導を10回、訪問による指導を23回行いました。そのほか、新規登録申請された55件の少量排出事業所に対して排出指導を行いました。</p> <p>①-2・内容物検査で不適正排出が認められた事業者に指導を行ったところ、事業系廃棄物の出し方が理解できていないとのことであったため、9月に直接訪問して廃棄物の出し方等について説明を行いました。また、保健所で開催した食品衛生者講習会（9月、3月に2回）、一般廃棄物処理業許可業者説明会（11月）や事業系一般廃棄物講習会（1月）において、事業系ごみの適正排出に関する説明を行いました。</p> <p>①-2・11月2日に許可業者向け説明会を実施し、許可更新申請の説明にあわせて、事業系一般廃棄物の清掃工場適正搬入について説明しました。</p> <p>①-2・1月16日に実施した排出事業者向け講習会では、58事業者が参加され、事業系一般廃棄物の減量及び再利用の促進、廃棄物の分別・適正処理、清掃工場における内容物検査等について説明しました。事後のアンケート結果から内容について概ねご理解いただきました。</p> | | |

【2024年度の事業計画】

| |
|---|
| 2024年度取組方針・内容 |
| <p>①-1・大規模事業所の立入検査を50事業所予定しており、廃棄物処理や資源化の状況について現状確認を行います。また、清掃工場内において、毎日内容物検査を実施し、収集業者からのヒアリングで不適正排出が認められた事業所に対して、電話による指導は即日、改善がみられない場合は適宜訪問指導を行います。</p> <p>①-2・内容物検査で不適正排出が認められた事業者に対して、事業系廃棄物の出し方を理解していただくために、直接訪問して廃棄物の出し方等について説明を行います。また、一般廃棄物講習会や保健所主催の食品衛生者講習会などにおいて、事業系ごみの適正排出に関する説明を行います。さらに、新たな取組みとして、インターネット等を活用したオンラインでの事業所向け講習会の開催を検討します。</p> <p>①-2・排出事業者、許可業者を対象とした講習会を実施します。</p> |

| | |
|------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 3-1-2 優良事例の公表・拡大 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 表彰した事業者数（累計） | | | | | | |
|-----|--------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 4者 | 10者 | 14者 | 24者 | 28者 |
| 実績値 | | 2者 | 7者 | 11者 | 20者 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・引き続き大規模事業所立入り時にまちだ3R賞について周知を行い、事業所にとって申請する事にインセンティブが感じられるような取組みを行っていきます。</p> <p>①・2022年度は各種広報への掲載や準まちだ3R賞創設等行うことができたので、2023年度は更に効果的な取組みができるよう検討していきます。</p> |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|--|
| <p>まちだ3R賞は2018年度に始まり今年で6年目になる。長年続けているのに認知度が向上しないのは、受賞することに企業がインセンティブを感じていないからではないか。</p> | <p>受賞事業所へのヒアリングでは、広報誌やHPへの掲載でも企業の認知度やイメージアップにつながるのご意見をいただいております。</p> <p>頂いたご意見を参考に、事業所にとってインセンティブが感じられるように仕組みを見直しているところです。</p> |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|--|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | |
| <p>①・2023年度は9者からまちだ3R賞の申請をいただき、9者の全てが受賞となりました。課題となっているインセンティブについては、2022年度の受賞事業所へのヒアリングで「HPや広報誌で周知していただけで十分有難い」とのご意見をいただいていたが、まちだECOtoフェスタでまちだ3R賞賞状贈呈式を行い、幅広く市民へ周知することができました。</p> <p>・2023年度の受賞事業所は、目標値を大きく上回る9事業所となり、地道な周知活動の結果が現れてきました。その中で、2022年度に準まちだ3R賞受賞を受賞した事業所のうち2者がまちだ3R賞を受賞され、事業所にとって更なる取組み意欲を持っていただくことができました。</p> <p>・まちだ3R賞受賞の9者について、2024年4月15日号の広報まちだに掲載し周知するように準備をしました。</p> | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・引き続き、大規模事業所立入り時などでまちだ3R賞について周知を行い、事業所にとって申請する事がインセンティブとして感じられるような取組みを行っていきます。</p> <p>①・2024年度も各種広報誌への掲載などで周知を行い、市内の事業所の参考となる効果的な取組みができるよう検討していきます。</p> |

| | |
|---------------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 3-2-1 公共施設から排出される事業系ごみの削減 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 排出される事業系ごみの削減率 | | | | | | |
|-----|----------------|-----------------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 2%削減 | 4%削減 | 15%削減 | 15%削減 | 15%削減 |
| 実績値 | | — | 1.9%削減 | 13.7%削減 | 13.6%削減 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・市で管理している施設から排出される事業系ごみの削減に向け、全職員を対象とした研修を実施します。また、市庁舎から排出されるごみの調査・分析を行い、効果的な啓発を検討します。また、紙の使用量削減に向け、職員に対し啓発を行います。</p> <p>参考数値 : 2019年度実績値 市庁舎 総ごみ量：147.4 t 廃棄物：11.3 t 資源物：136.1 t (溶解分78.2 tを含む) 2022年度実績値 市庁舎 総ごみ量：127.2 t 廃棄物：11.2 t 資源物：116.0 t (溶解分55.0 tを含む)</p> |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|--|---|
| 2023年度以降の目標を15%で打ち止めにするのではなく、引き続き削減を進めるように設定した方がよいと思います。 | 目標値は2022年度の実績を踏まえて、上方修正したところで。新たな目標設定については、今後の削減状況を踏まえて、検討いたします。引き続き市庁舎から排出されるごみの削減に取り組んでまいります。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | △ |
|--|-------|---|
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>①・市庁舎内の課から排出された燃やせるごみ（事業系一般廃棄物）の組成調査を2回実施しました（8月15日、2月1日）。組成調査の結果から、燃やせるごみの袋の中に資源化できる紙類が多く含まれていることがわかったため、部長会議（8月29日、3月5日）及び全庁掲示板（9月13日、3月13日）にて、調査結果及び雑がみ類の分別方法を周知しました。特に、「紙を分別すれば有価売却ができ、燃やせるごみにした場合は費用が掛かる」旨を記載し、環境視点以外からも訴えを行いました。</p> <p>①・全職員を対象としたeラーニングによる研修で、紙の分別方法及び使用量削減の啓発を行いました。</p> | | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・市で管理している施設から排出される事業系ごみの削減に向け、全職員を対象とした研修を実施します。また、市庁舎から排出されるごみの調査・分析を行い、効果的な啓発を検討します。また、紙の使用量削減に向け、職員に対し啓発を行います。</p> <p>参考数値 : 2019年度実績値 市庁舎 総ごみ量：147.4 t 廃棄物：11.3 t 資源物：136.1 t (溶解分78.2 tを含む) 2023年度実績値 市庁舎 総ごみ量：127.3 t 廃棄物：11.0 t 資源物：116.3 t (溶解分58.8 tを含む)</p> |

| | |
|-----------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 3-2-2 事業系生ごみの削減 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| 指標① | | フードバンクに関する情報提供団体数 | | | | |
|-----|-----------------|-------------------|--------|--------|--------|--------|
| 年 度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 3団体 | 3団体 | 3団体 | 4団体 | 5団体 |
| 実績値 | 2団体 | 4団体 | 1団体 | 2団体 | | |

| 指標② | | 食べきり協力店認定数（累計） | | | | |
|-----|-----------------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 年 度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 10店 | 15店 | 20店 | 60店 | 100店 |
| 実績値 | 5店 | 8店 | 10店 | 16店 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・継続して事業所訪問時に食品ロスやフードバンク等に関する情報提供や他事業所の取組みを周知していきます。また、保健所との連携についても検討していきます。</p> <p>②・食べきり協力店については、引き続き増やせるよう情報を収集します。また、協力店になっていただくためには、経営者の方に協力店になるメリットを感じていただく必要があります。メリットの一つとして多くの方が店舗を利用することがあると考えられるため、各種媒体で協力店の周知を行います。</p> <p>また、町田市商工会所の協力を得ながら事業を進めます。</p> |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|---|
| 事業者によるフードバンクの活用は、事業系生ごみ削減に大きく影響するので、取組を強化して下さい。 | 今後も事業所への立入り時に取組みについて周知していきます。食べきり協力店の取組項目については、町田市公式ホームページで紹介しています。各店舗における表示については、店舗と相談していきたいと思えます。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | |
| <p>①・大規模事業所への立入り時や青年会議所との連携の際に、防災備蓄品等については職員への配布が主であることを確認できました。配布しきれない場合の活用先としてフードバンクを周知しました。</p> <p>②・食べきり協力店については、新たに協定を結んだフードシェアリングサービス「TABETE」の登録店舗へ働きかけを行い、6店舗登録していただくことができました。また、今後の登録に向けて、青年会議所と連携し、情報収集することができました。</p> | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・事業系生ごみの削減対策として、フードバンクの活用を周知していましたが、品物によっては受入れしてもらえない物も出てくるため、ごみ削減に向けどのようなルートを活用していただくのが効果的なのか、事業所を交え検討していきます。</p> <p>②・登録店舗数の増加に向けて、引き続き関係部署と連携し、情報収集していきます。</p> |

| | |
|--------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 3-2-3 事業系紙類の減量・資源化 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 周知啓発活動の実施回数 | | | | | | |
|-----|-------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 10回 | 10回 | 10回 | 10回 | 10回 |
| 実績値 | | — | 7回 | 10回 | 10回 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・内容物検査で資源化可能な紙類の混入が認められた事業所に対し、資源化に誘導していくため継続的に周知し、一般廃棄物への混入があった事業所へは指導を行っていきます。また、適正排出に向けた取組みとして、市内事業所に回収場所の協力をいただき紙資源が回収可能か検討を継続していきます。</p> <p>①・まちだ3R賞受賞事業所は、既にペーパーレス化や資源化の推進を実践しているので、その取組み方法や内容について他事業所の参考にさせていただけるよう周知していきます。</p> |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|--|----------------------------|
| 事業系紙類の資源化は効果大きいので、取り組みやすい回収方法を検討して下さい。 | どのように回収するのが効果的なのか検討していきます。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | |
| <p>①・事業系紙類の減量・資源化については、大規模事業所への立入り時や他事業者に対する排出事業者指導時に、まちだ3R賞受賞事業者は様々な手法でペーパーレス化の取組みを行っていることや、他事業所の事業者内におけるリユース等の取り組み事例を紹介し、ごみ減量・資源化への手法についてSNS等で周知しました。</p> <p>周知活動は年間を通じて行いましたが、内容物検査において依然として資源化可能な紙類の混入が確認されていることから、排出事業所指導や少量排出事業者登録時にも周知を行いました。</p> <p>①・事業系紙類の回収については、未だ資源化可能な紙類がごみとして排出されていることから、古紙再生事業者にヒアリングを行い、資源化の可能性について確認することができました。</p> | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|--|
| <p>①・市内事業所において、禁忌品とされていた使用済み紙コップや紙皿を資源化できる古紙再生事業所が複数あるため、これまで焼却処理されていた古紙類の資源化について、大規模事業所等への立入り検査時に周知していきます。</p> <p>・紙類の回収方法については、場所や時間等の課題があるため継続して検討していきます。</p> |

| | |
|------------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 3-3-1 事業系ごみ処理手数料の見直し検討 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 検討の実施 | | | | | | |
|-----|-------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 情報収集 見直しの検討 | 情報収集 見直しの検討 | 情報収集 見直しの検討 | 情報収集 見直しの検討 | 見直し (完了) |
| 実績値 | | — | 情報収集 見直しの検討 | 情報収集 見直しの検討 | 情報収集 見直しの検討 | | |

【事業計画】

| 2023年度取組方針・内容 |
|---|
| ①・ごみの減量・資源化の推進を目的として、事業系ごみ処理手数料を2015年度に改定（値上げ）しています。社会情勢等を踏まえた価格水準の妥当性の分析を行うとともに、周辺自治体の手数料等について情報収集を行います。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|---|
| 事業系ごみ処理手数料について、町田市処理手数料は多摩地域では平均的な価格ですが、近隣の横浜市、川崎市、相模原市と比較すると高額となります。 | 他市の事例については、多摩地域だけでなく、横浜市や川崎市等近隣市の動向も確認します。事業系ごみ処理手数料の見直しについては、様々なデータを基に総合的に判断します。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|--|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | |
| ①・周辺自治体の手数料の変動について情報収集を行いました。多摩26市では、小平市と東大和市が2023年4月に手数料の値上げ（小平24円→40円、東大和25円→40円）を行いました。その結果26市の平均は、35.9円/kgから37.6円/kgと高くなっています。町田市の手数料は35円/kgであり、平均と比較してやや安くなっております。その他多摩地域以外の近隣市では、相模原市が2023年10月に手数料の値下げ（26円→25円）を行いました。 | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度取組方針・内容 |
|---|
| ①・ごみの減量・資源化の推進を目的として、事業系ごみ処理手数料を2015年度に改定（値上げ）しています。社会情勢等を踏まえた価格水準の妥当性の分析を行うとともに、周辺自治体の手数料等について情報収集を行います。 |

| | |
|-------------------------------|----------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 4-1-1 環境に配慮した新しいごみ焼却施設等の整備・運営 | 循環型施設管理課 |

【指標と目標値】

| | | | | | | |
|-----|------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------|------------------|
| 指標① | | 発電効率 | | | | |
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 17%以上 (新焼却施設) | 17%以上 (新焼却施設) | 17%以上 (新焼却施設) | 17%以上 (新焼却施設) | 17%以上 (新焼却施設) |
| 実績値 | 約10% (既存焼却施設) | 19.60% | 20.86% | 21.00% | | |
| 指標② | | 燃やせないごみに含まれる資源化物の選別精度 | | | | |
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 75%以上 | 75%以上 | 75%以上 | 75%以上 | 75%以上 |
| 実績値 | — | 硬質プラ：20.75% 小型家電：81.53% | 硬質プラ：24.81% 小型家電：84.88% | 硬質プラ：24.22% 小型家電：85.41% | | |

【事業計画】

| |
|---|
| 2023年度の取組方針・内容 |
| <p>①・新しいごみ焼却施設にて、指標としている発電効率（17%以上）を達成できるよう引続き設備全般に対する 安定的で継続する運営のモニタリングを実施し、発電効率の確認を行います。</p> <p>②・目標達成に向けて工夫をしましたが、現在の状況では選別精度75%を達成するための効果的な改善策がないため、運営事業者と協議し、2023年度は暫定的に30%を目標として取り組むこととしました。モニタリングを実施し、目標達成に向けて運営事業者と改善を重ねてまいります。</p> |

【審議会からの意見】

| | |
|---|---|
| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
| 燃やせないごみに含まれる硬質プラスチックに関しては、選別方法の改善が必要です。 | 容器包装プラスチックが多く混入し、手選別で硬質プラスチックの回収が困難な状況です。配置人員を固定し手選別の熟練度をあげ、改善を図っております。引き続き選別方法及び配置体制の調査研究をしてまいります。 |

【評価】

| | | |
|---|-------|---|
| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | △ |
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>①・安定的な運営を継続することで、指標としている発電効率（17%以上）を達成できました。引き続きモニタリングを実施し、発電効率の確認を行いました。</p> <p>②・硬質プラスチックの選別精度について運営事業者と協議し、手選別要員の増員（4人→6人）やコンベア速度の調整などを行い、30%の暫定目標を目指して取り組みましたが、火災の原因になっている充電式電池を選別品目に追加し除去を行っているため、目標値を下回りました。</p> | | |

【2024年度の事業計画】

| |
|---|
| 2024年度の取組方針・内容 |
| <p>①・ごみ焼却施設の安定的な運営を継続できるようにモニタリングを行い、指標としている発電効率（17%以上）が達成されることを確認します。</p> <p>②・暫定的に目標とした選別精度30%の達成に向けて運営事業者と協議を行い、改善を進めます。</p> |

| | |
|--------------------------|----------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 4-1-2 生ごみのバイオガス化施設の整備・運営 | 循環型施設管理課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 発電量（熱利用率） | | | | | | |
|-----|-----------|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | 年度 | 2019年度 （実績値） | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 350kWh/ごみt | 350kWh/ごみt | 350kWh/ごみt | 350kWh/ごみt | 350kWh/ごみt |
| 実績値 | | — | 393kWh/ごみt | 418kWh/ごみt | 354kWh/ごみt | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|---|
| ①・バイオガス化施設では、ごみ質の変動にかかわらず指標としている発電量が目標値を達成できるように、運営事業者の施設運転状況等について適切に操業が行われているかモニタリングを行います。目標値が達成できない場合、運営事業者と協議し、改善を促して目標値の達成を目指します。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|--|-------------------------------|
| バイオガス化によって発生する、二酸化炭素の処理に関する対策を検討して下さい。 | 二酸化炭素の有効な処理方法について情報収集をしております。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|--|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | — |
| ①・運営事業者の施設運転状況等のモニタリングを行い、10月分までは目標値を達成できました。しかし、2023年11月4日に発生した火災でバイオガス化設備が停止したため、11月以降発電ができない状況となりました。（実績値については、火災発生前の10月分までの結果を記載） ・バイオガス化設備の復旧に向けた対応を運営事業者と進めました。 | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|--|
| ①・2023年11月4日に発生した火災でバイオガス化設備が停止したため、復旧までガス発電は行えない状態です。 （復旧は1年以上を要する計画となっており、2025年6月末に復旧完了予定であるため、2024年度のガス発電量はゼロとなる見込みです） ・復旧に向けた対応を運営事業者と進めていきます。 |

| | |
|----------------|----------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 4-1-3 資源化施設の整備 | 循環型施設整備課 |

【指標と目標値】

| | | | | | | |
|-------|-------------------|----------|-----------------|----------------|--------------|--------------------------|
| 指標①-1 | 施設整備の進捗状況（相原地区） | | | | | |
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 都市計画決定 | 事業認可・ 用地取得 | 用地取得 | 業者選定 用地取得 | 実施設計・ 整備工事開始 |
| 実績値 | 施設概要の検討 | 都市施設の告示 | 事業認可・ 用地取得開始 | 用地取得 | | 用地取得未了のため、 指標(目標値)を追記 |
| 指標①-2 | 施設整備の進捗状況（上小山田地区） | | | | | |
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 関係者等との調整 | | 施設計画位置再検討・用地測量 | | |
| 実績値 | 施設概要の検討 | 施設概要の検討 | 施設概要の検討 | 関係部署との調整 | | |

【事業計画】

| |
|---|
| 2023年度取組方針・内容 |
| <p>町田市資源循環型施設整備基本計画に基づき、ビン、カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等の資源ごみ処理施設を市内に分散して整備します。また、2022年4月に施行されたプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラ新法）に基づき、国や都の動向にも注視しながら容器包装プラスチック及び製品プラスチックの資源化に向けた施設整備を目指します。</p> <p>①-1・相原地区の資源ごみ処理施設整備に向け、事業用地の取得について対象地7件中残る5件の取得を目指します。</p> <p>①-2・上小山田地区の資源ごみ処理施設整備に向け、道路事業及び上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会、その他関係者と調整し、用地測量及び施設基本計画の検討を行います。</p> |

【審議会からの意見】

| | |
|----------------------------------|--|
| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
| 施設整備基本計画が速やかに実行出来る様進めて頂きたいと思えます。 | 2023年度改定の資源循環型施設整備基本計画において見直した事業スケジュールに沿って施設整備を進めてまいります。 |

【評価】

| | | |
|--|-------|---|
| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | △ |
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>①・2023年5月に町田市資源循環型施設整備基本計画の改定を行い、施設整備スケジュールの見直し等を行いました。</p> <p>①-1・相原地区の資源ごみ処理施設の整備については、対象地7件と交渉を進めた結果2件を取得し、合計4件取得できました。また、当該施設的设计施工に向け、入札公告に必要な発注仕様書案を作成しました。</p> <p>①-2・上小山田地区の資源ごみ処理施設の整備については、前提となる道路の整備方針が現道拡幅を基本とすることとなったため、庁内関係部署と施設へのアクセス路等の調整を進めました。</p> | | |

【2024年度の事業計画】

| |
|---|
| 2024年度取組方針・内容 |
| <p>・2023年5月に改定した町田市資源循環型施設整備基本計画に基づき、ビン、カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等の資源ごみ処理施設を市内に分散して整備します。また、2022年4月に施行されたプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラ新法）に基づき、国や都の動向にも注視しながら容器包装プラスチック及び製品プラスチックの資源化に向けた施設整備を目指します。</p> <p>①-1・相原地区の資源ごみ処理施設整備に向け、事業用地の取得について対象地7件中残る3件の取得を目指します。</p> <p>①-2・上小山田地区の資源ごみ処理施設整備に向け、庁内関係部署及び上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会、その他関係者と調整し、施設位置の再検討を行います。</p> |

| | |
|----------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 4-2-1 収集体制の見直し | ごみ収集課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 効率的な収集体制の構築 | | | | | |
|-----|-----------------|--------|--------|------------------|--------|--------|
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 情報収集 | 方針検討 | 方針決定 | 実施準備 | 構築 |
| 実績値 | — | 情報収集 | 方針検討 | プラスチック 収集方針決定 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|--|
| ①・資源の中間処理先、収集運搬方法、市民の排出方法について、部内関係課と検討を進めます。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|--|
| 収集体制の見直し、2023年度の事業計画について、メリット、デメリットをしっかりと把握し循環型社会を目指し効率的な収集体制を検討してください。 | 収集体制の見直しについては、メリット、デメリットを把握しながら、検討を進めます。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | |
| <p>①・4月から5月にかけて、ごみ・資源の収集運搬受託事業者12社との意見交換会を順次実施しました。検討中の週5日収集への変更や、収集頻度の見直し等に対して、収集業務に従事する立場から意見や助言を頂き、検討を進める上での参考としました。</p> <p>①・5月に町田市資源循環型施設整備基本計画を改定し、整備スケジュールを見直したため、収集体制案に新しい整備スケジュールを反映しました。</p> <p>①・4月、7月、2月開催の町田市廃棄物減量等推進審議会で、検討状況の報告を行いました。</p> <p>①・部内の関係課と協議しながら方針決定に向けた資料の作成を行い、意思決定に向けた準備を進めました。</p> <p>①・12月に燃やせるごみの収集運搬受託事業者7社とのヒアリングを順次、実施しました。検討した週5日収集への変更や、収集頻度の見直し等の実現性などについて、事業者としての意見を聞取りました。</p> <p>①・これまで、JR横浜線以南地域で先行実施していた容器包装プラスチックの分別収集について、2026年度から市全域で収集する方針を12月に決定しました。</p> | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・収集体制の見直しで排出方法等が変わる容器包装プラスチックについて、市民にとって分かり易い周知と、効果的な啓発の方法を検討し、準備を開始します。</p> <p>①・見直し項目の一つである「週5日収集への変更」については、「物流2024年問題」の影響を見極めつつ、引き続き検討します。</p> |

| | |
|--------------|-------------------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 4-3-1 資源化の拡大 | 環境政策課 循環型施設管理課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 調査研究の実施 | | | | | |
|-----|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 |
| 実績値 | — | 実施 | 実施 | 実施 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・新たな資源化品目の設定を目指し、増加傾向にあるごみ種などの資源化に向けた調査研究を行います。</p> <p>①・プラスチック類の資源化品目拡大に向け、4月1日から使い捨てコンタクトレンズの空ケースの拠点回収を市内10施設で開始します。</p> <p>①・プラスチック類の資源化品目拡大に向け、4月1日からリサイクル広場においても使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収を実施します。</p> <p>①・家庭用生ごみ処理機等の利用台数の増加施策を促進し、生ごみの発生抑制を図るため、家庭用生ごみ処理機一次生成物の回収を開始できるよう調整します。</p> <p>①・落ち葉の資源化に向けては、たい肥化を含め様々な活用方法を模索します。</p> |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|---|
| <p>資源化の拡大は、さらなるごみの減量化や資源化を目指す際に重要な検討項目となる。紙おむつや容器包装以外のプラスチックなど新しく資源化可能な項目を考えると同時に、市内全体で収集品目が同じになるようにさらに取り組みを進める必要があるのではないか。</p> | <p>いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p> <p>また、市内全体で収集品目が同じになるよう検討を進めます。</p> <p>2023年度改定の資源循環型施設整備基本計画に基づき整備する2ヶ所の資源ごみ処理施設は、容器包装プラスチックとともに製品プラスチックを圧縮・梱包し、再資源化を図る施設とします。</p> |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | ○ |
|---|-------|---|
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| <p>①・プラスチックごみの分別を促進し、資源化を推進するための取組として、使い捨てコンタクトレンズの空ケースの拠点回収を4月1日から市内10施設で開始しました。1年間で165.25kg(約16.52万個)回収しました。</p> <p>①・プラスチックごみの分別を促進し、資源化を推進するための取組として、(株)パイロットコーポレーションと覚書を締結し、使用済みプラスチック製ペン等の拠点回収を9月1日から市内2施設で開始しました。3月までの7か月間で29.18kg回収しました。</p> <p>①・紙おむつのリサイクルについて、環境省(7月31日)及び(株)ユニ・チャーム(8月7日)と意見交換を実施し、関東地方での事業化に向けては、施設整備が課題であるとの認識を共有しました。</p> <p>①・紙おむつのリサイクルについて、環境省が発表した「使用済紙おむつの再生利用等の促進に関するプロジェクトの検討結果取りまとめ(令和5年8月)」にて町田市の事例が取り上げられました。</p> <p>①・家庭用生ごみ処理機から排出される一次生成物を市で回収することについて検討を行いました。引き取り先が確定できず、実現していません。</p> <p>①・落ち葉の資源化について、落ち葉搬入部署と落ち葉搬入物への異物混入状況を確認し、落ち葉の受け入れを開始しました。2023年度は、1190kg受け入れました。</p> | | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|--|
| <p>①・新たな資源化品目の設定を目指し、増加傾向にあるごみ種などの資源化に向けた調査研究を行います。</p> <p>①・プラスチック類の資源化品目拡大に向け、使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収や使用済みプラスチック製ペン等の回収場所を拡大します。</p> <p>①・各家庭で使用されている家庭用生ごみ処理機から排出される一次生成物の回収については、個別の回収方法の確立や受け入れ先の確保等課題があるため、引き続き、検討していきます。</p> <p>①・新たな資源化の取組として、リレーセンターみなみの機器保守点検で発生した廃油を再資源化できる業者へ売却します。</p> |

| | |
|---------------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 5-1-1 災害時等のごみ処理に関する計画の見直し | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| | | | | | | |
|-----|--------------------------|--------|--------|----------------------|--------|--------|
| 指標① | 災害廃棄物処理計画及び職員行動マニュアルの見直し | | | | | |
| 年 度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 見直しの実施 | 見直しの実施 | 見直した職員行動マ ニュアルの検証 | 見直しの実施 | 見直しの実施 |
| 実績値 | — | 見直しの実施 | 見直しの実施 | 職員行動マニュアル の検証 | | |
| 指標② | 事業継続計画の見直し | | | | | |
| 年 度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 見直しの実施 | 見直しの実施 | — | — | — |
| 実績値 | — | 見直しの実施 | 見直しの実施 | | | |

【事業計画】

| |
|---|
| 2023年度の取組方針・内容 |
| ①・災害廃棄物処理を想定した訓練を通じて、職員行動マニュアルの検証を行います。また、引き続き災害廃棄物の仮置場候補地の現地調査を8か所行い、災害廃棄物の円滑な排出、処理ができるような仮置場レイアウトについて検討します。 |

【審議会からの意見】

| | |
|-------------------------------------|---|
| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
| 想定災害（首都圏直下型地震）に対する収集体制の検討をしていただきたい。 | 「町田市地域防災計画」及び「町田市災害廃棄物処理計画」においては、首都直下地震の中でも町田市に被害が大きい多摩直下地震の被害想定をもとに策定しております。この計画が実効性のあるものとなるようにして参ります。 |

【評価】

| | | |
|---|-------|---|
| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | ○ |
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| ①・災害廃棄物の仮置場候補地の現地調査を9か所行い、災害廃棄物の円滑な排出、処理ができるような仮置場レイアウトについて検討しました。これにより町田市地域防災計画に記載している全ての仮置場候補地についての調査が完了しました。 | | |
| ①・災害廃棄物に関する協定を締結した事業者と連携し、仮置場の開設、運営、搬入の検証を行う実動訓練を12月20日に実施しました。 | | |
| ①・訓練の結果を踏まえて、3月に職員行動マニュアルの検証を行いました。仮置場開設にあたっては、出勤前に、対策部内での役割の分担・認識共有を行うことや仮置場内の分別品目やレイアウトの事前調整が必要であることなど課題を確認できました。 | | |

【2024年度の事業計画】

| |
|--|
| 2024年度の取組方針・内容 |
| ①・町田市地域防災計画を2023年度に修正したことに伴い、町田市災害廃棄物処理計画の修正を行います。また、仮置場の現地調査の結果を計画に反映します。 |
| ①・災害廃棄物処理を想定した訓練を通じて、職員行動マニュアルの検証を行います。 |

| | |
|------------------|----------------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 5-1-2 災害時等の教育・訓練 | 環境政策課 ごみ収集課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 災害時の対応訓練の実施回数 | | | | | | |
|-----|---------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 |
| 実績値 | | — | 1回 | 1回 | 1回 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・引き続き、災害廃棄物処理に関する理解を深め、部署内で知識や経験を定着させるために、仮置場の開設、運営、搬入の検証を行う実動訓練を、災害廃棄物に関する協定を締結した一般財団法人町田エコライフ推進公社と連携して実施し、仮置場の開設手順や搬入の流れについて確認します。</p> <p>災害時のごみの適正排出について、環境広報紙「ECOまちだ」、「資源とごみの収集カレンダー」、「資源とごみの出し方ガイド」に啓発記事を掲載します。また、市HPに災害時にごみをできるだけ出さない方法や、平常時の心がけに関する情報を掲載します。</p> |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|---|
| <p>災害時の対応は、国や近隣自治体との協力が欠かせません。いかに事前に想定と準備が出来ているかが問われます。</p> | <p>市の処理施設において処理のできない災害廃棄物や膨大な量の災害廃棄物が発生した場合、民間事業者及び他市町村への応援要請を行う計画としております。</p> <p>また、災害廃棄物処理支援ネットワーク (D.Waste-Net) を通じて国と連携することとしております。</p> |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | ○ |
| <p>①・災害廃棄物に関する協定を締結した事業者と連携し、仮置場の開設、運営、搬入の検証を行う実動訓練を12月20日に実施しました。</p> <p>①・災害時のごみの適正排出について、環境広報紙「ECOまちだ」1月15日号、「資源とごみの収集カレンダー」、「資源とごみの出し方ガイド」に啓発記事を掲載しました。</p> | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・引き続き、災害廃棄物処理に関する理解を深め、部署内で知識や経験を定着させるために、仮置場の開設、運営、搬入の検証を行う実動訓練を、災害廃棄物に関する協定を締結した事業者と連携して実施し、仮置場の開設手順や搬入の流れについて確認します。</p> <p>①・災害時の資源とごみの適正排出について、環境広報紙「ECOまちだ」、「資源とごみの収集カレンダー」に啓発記事を掲載します。また、市HPに掲載した災害時のごみの出し方について、適宜、内容の見直しを行います。</p> |

| | |
|------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 5-1-3 応援・受援体制の整備 | 環境政策課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 他自治体等との連携体制の構築 | | | | | | |
|-----|----------------|-----------------|--------|--------|----------|--------|--------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 情報収集 | 協定締結 | 拡充 | 拡充 | 拡充 |
| 実績値 | | — | 情報収集 | 協定締結 | 拡充 (29社) | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|--|
| ①・災害廃棄物の収集運搬処理が可能な市の一般廃棄物処理業許可業者との協定締結に向けて調査を行います。また、引き続き、災害廃棄物の収集運搬処理が可能な事業者の情報収集を行います。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|---|
| 一般廃棄物処理業者27社との協定締結に伴い、廃棄物撤去に関するマニュアル等の策定も検討して下さい。 | 「町田市災害廃棄物処理マニュアル」を策定しています。また、協定締結事業者の皆様と迅速な連携が可能となるよう、定期的な訓練も検討してまいります。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | |
| ①・災害廃棄物の収集運搬処理が可能な市の一般廃棄物処理業許可業者等について、5月16日に27社、8月14日に1社と協定を締結しました。協定締結した一般廃棄物処理業許可業者等は29社となりました ①・新たに、重機や資機材を所有している建設事業者との協定締結に向けて調整を行いました。 ・能登半島地震における災害対応に関する人的支援として、3月14日から3月29日までの期間、環境資源部及び道路部職員計12名を石川県志賀町へ派遣し、公費解体・自費償還制度相談及び申請受付業務に従事しました。 | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|---|
| ①・災害廃棄物の仮置場運営に必要な重機や資機材を所有している建設事業者との協定締結に向けた調整を行います。また、引き続き、災害廃棄物の収集運搬処理が可能な事業者の情報収集を行います。 |

| | |
|------------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 5-2-1 高齢者等に対応した収集体制の検討 | ごみ収集課 |

【指標と目標値】

| 指標① | | 資源の戸別収集の検討 | | | | |
|-----|-----------------|------------|--------|--------|--------|--------|
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 情報収集 | 方針検討 | 方針決定 | 実施準備 | 完了 |
| 実績値 | — | 情報収集 | 方針検討 | 方針検討 | | |

| 指標② | | ふれあい収集事業の見直し | | | | |
|-----|-----------------|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 情報収集 | 方針検討 | 方針決定 | 実施準備 | 完了 |
| 実績値 | — | 情報収集 | 方針検討 | 方針検討 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|--|
| ①・資源の戸別収集については、市民の排出方法や収集方法について検討を進めます。 ②・ふれあい収集事業の見直しについては、ふれあい収集利用の条件、収集方法等について検討を進めます。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 資源の個別収集に関しては、分かり易く手間のかからない方法を検討して下さい。 | ごみの分け方、出し方が分かり易くなるよう、周知方法について検討します。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| 取組経過・1年間の総括 | |
| ①・資源の戸別収集については、4-2-1「収集体制の見直し」の取組みに含めて検討しました。 ①・戸別収集を実施している自治体に赴き、各戸の排出状況などを視察しました。また、戸別収集の導入によるごみ収集作業員の増員数や、収集箇所数などを試算しました。 ②・ふれあい収集事業の見直しについては、ふれあい収集利用の条件、収集方法等を4-2-1「収集体制の見直し」の取組みに含めて検討しました。 下半期では、町田市ホームページからふれあい収集の利用申請書をダウンロードできるようにし、利用希望者の手間を軽減しました。 | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|---|
| ①・資源物の戸別収集については、「物流2024年問題」の影響を見極めつつ、引続き検討します。 ②・ふれあい収集事業については、収集体制の見直し（取組施策4-2-1）の状況を踏まえつつ、引き続き収集主体や方法等の検討をします。 |

| | |
|-----------------------|----------------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 5-3-1 不用品の違法回収防止対策の推進 | 環境政策課 ごみ収集課 |

【指標と目標値】

| 指標① | | 指導体制の確立 | | | | |
|-----|-----------------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 体制の検討 | 体制の検討 | 体制の確立 | 体制の運用 | 体制の運用 |
| 実績値 | — | 体制の検討 | 体制の検討 | 体制の確立 | | |

| 指標② | | 違法回収利用の未然防止を図るための啓発回数 | | | | |
|-----|-----------------|-----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | 5回 | 5回 | 5回 | 5回 | 5回 |
| 実績値 | 1回 | 5回 | 6回 | 5回 | | |

【事業計画】

※3R 2回、収集課 3回

| 2023年度の取組方針・内容 | |
|--|--|
| <p>①・消費生活センターとの連携や他自治体と情報共有を行い、不用品回収業者に対し効果的な指導ができるよう、情報提供を受けてから初動対応していく手法や業務体制を確立していきます。</p> <p>②・市民が無許可の不用品回収業者とのトラブルに巻き込まれないように、SNS等を活用して適宜、情報発信していきます。</p> | |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|---|
| 不用品の違法回収などは、トラブルにならないように適切に情報を示していく必要がある。啓発回数は5回と目標値に届いているが、ごみを出す場所やマンションに掲示させてもらうなどの方法も考えてもいいのではないか。 | 頂いたご意見を参考に啓発していきます。 また、無許可での不用品回収は違法行為のため、東京都や警視庁と情報共有し連携を図っていきます。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| | ○ |
| 取組経過・1年間の総括 | |
| <p>①-1・不用品回収業者に対する指導体制については、東京都及びごみ収集課と連携して、情報共有・巡視を行う体制を確立しました。</p> <p>①-2・無許可での不用品回収を未然に防ぐため、不用品回収をしている事業者だけではなく、依頼している業者に対し、違法であることを対面で伝えることができました。また、関係部署と連携して、チラシの情報をもとに巡視を行い、回収業者に対して違法であることを直接伝え、回収行為を行わないよう指導することができました。</p> <p>②市民が無許可の不用品回収業者とのトラブルに巻き込まれないよう、3か所の事業所への訪問指導や、チラシが入っていた地域の巡視を4回行うとともに、SNS等を活用して適宜、情報発信しました。</p> <p>②・市民が無許可の回収業者を利用しないよう、「資源とごみの収集カレンダー」に啓発の掲載をしました。また、HPに掲載している注意喚起の内容を見直し、不用品回収業者とトラブルになった際の相談先（町田市消費生活センター）情報などを見易くしました。</p> <p>下半期は、2024年1月15日号のECOまちだに啓発の掲載をしました。</p> | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 | |
|--|--|
| <p>①・消費生活センターとの連携や東京都、他市との情報共有を行い、不用品回収業者に対し効果的な指導ができるよう、対応していく手法や業務体制を確立していきます。</p> <p>①・東京都やごみ収集課との連携による不用品回収業者に対してのパトロールや立入を実施して、違法回収業者の利用を未然に防止するための対策を継続して行っていきます。また、不用品回収業者はいつどこに現れるかわからないため、引続き連携を強化し体制を確立していきます。</p> <p>②・市民が無許可の不用品回収業者とのトラブルに巻き込まれないよう、市内の巡視やSNS等を活用して適宜、情報発信していきます。</p> | |

| | |
|-------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 5-3-2 不法投棄防止対策の推進 | ごみ収集課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 不法投棄防止・抑止活動の実施回数 | | | | | | |
|-----|------------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 198回 | 176回 | 198回 | 198回 | 198回 |
| 実績値 | | 148回 | 176回 | 198回 | 198回 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|---|
| ①・昼間、夜間のパトロールのコースの見直しを行い、不法投棄の防止、抑止を図ります。 ①・不法投棄多発場所に監視カメラや啓発看板を設置し、不法投棄がされにくい環境を整えます。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|--|
| 市民通報アプリ【まちピカ町田くん】のシステムを利用し、市民に不法投棄場所を通知してもらう。その取り組みを周知することで抑止を図ってほしい。 | 既に不法投棄や動物の死体収容などの通報内容により、担当課に振分けられ対応しています。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 | ○ |
|---|-------|---|
| 取組経過・1年間の総括 | | |
| ①・4月から3月は昼間のパトロールを150回実施、青色回転灯付車両による夜間パトロールを年間4回（1回につき6日・2台）計48回実施することにより集積所の管理や不法投棄の防止と抑止を行いました。 ②・不法投棄やルール違反の相談を受けた集積所等については、啓発看板の設置やパトロールの強化にて対応しています。 相談のあった集積所等には、啓発看板を77枚貸与し、160枚配付しました。また、不法投棄多発場所は、監視カメラや啓発看板を設置すると同時に重点的にパトロールを強化し、不法投棄の防止と抑止に努めました。不法投棄に関する相談に早期に対応することで、被害の拡大防止と未然防止につなげました。 | | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|---|
| ①・昼間、夜間のパトロールのコースの見直しを行い、不法投棄の防止、抑止を図ります。 ①・不法投棄多発場所に監視カメラや啓発看板を設置し、不法投棄がされにくい環境を整えます。 |

| | |
|----------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 5-3-3 まちの美化の推進 | 環境共生課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 美化推進キャンペーン実施回数 | | | | | | |
|-----|----------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 4回 | 20回 | 22回 | 22回 | 22回 |
| 実績値 | | 4回 | 18回 | 27回 | 30回 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|--|
| <p>①・以下の美化推進啓発活動を行います。</p> <p>「美化推進キャンペーン」：美化推進重点区域内及び付近の町内会・自治会や商店会等と協力して啓発品の配布や清掃活動を行う。</p> <p>「美化推進キャラバン」：主に市の職員が市内各駅周辺にて啓発品の配布や清掃活動を行う。</p> <p>「町田駅周辺巡回指導」：美化推進員とともに喫煙マナーの指導や啓発活動を行う。</p> <p>①・ハスのんInstagramへの投稿や、市のホームページを活用し美化推進重点区域の周知等、情報発信を行います。</p> <p>①・町内会・自治会や商店会等との連携のとれたイベント等の啓発活動のあり方を検討します。</p> <p>①・南町田グランベリーパーク駅周辺及び玉川学園前駅周辺にて、実証実験を行い、美化推進重点区域外用のポイ捨て防止対策用路面シート設置によるポイ捨てごみ等の減少の有無を検証します。</p> |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|--|
| 美化活動に関して、自治会、商店会などだけでなく、将来的に環境分野の市民団体などとの連携を強めることも検討されると良い。 | 美化活動に関して自治会、商店会だけではなく、鉄道やバスなどの交通事業者、FC町田ゼルビアやベスカドーラ町田、玉川大学などとも連携しており、今後も連携を強めるように努めます。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|--|-------|
| ◎ | |
| 取組経過・1年間の総括 | |
| <p>【美化推進キャンペーン実施回数内訳】</p> <p>①・2023年度は、ごみゼロデー美化キャンペーン1回、美化推進キャンペーン4回、美化推進キャラバン4回、町田駅周辺巡回指導12回、啓発記事発信9回合わせて30回の啓発活動を行いました。</p> <p>ごみゼロデー美化キャンペーン：鶴川（5月28日）</p> <p>美化推進キャンペーン：多摩境（6月28日）、南町田グランベリーパーク（9月26日）、成瀬（10月26日）、町田（2024年1月20日）</p> <p>美化推進キャラバン：玉川学園（4月27日）、相原（7月28日）、つくし野（11月21日）、すずかけ台（2024年2月27日）</p> <p>町田駅周辺巡回指導：4月25日、5月25日、6月26日、7月25日、8月29日、9月28日、10月24日、11月28日、12月26日、2024年1月25日、2月27日、3月27日</p> <p>啓発記事発信：美化推進重点区域及び道路等喫煙禁止区域の紹介（5月8日）</p> <p>ごみゼロデー（5月17日）</p> <p>鶴川駅ごみゼロデー美化キャンペーン実施、結果報告（5月25日、6月1日）</p> <p>多摩境駅キャンペーン結果報告（7月7日）</p> <p>南町田グランベリーパーク駅キャンペーン結果報告（10月2日）</p> <p>環境教育展実施（10月11日）</p> <p>成瀬駅キャンペーン結果報告（11月8日）</p> <p>町田駅キャンペーン結果報告（1月26日）</p> <p>【その他取組内容】</p> <p>・ごみゼロデー周知のため、新たな取り組みとして以下の媒体を利用した周知啓発を行いました。</p> <p>東急リパブル町田センター大型ビジョン1回（5/1）</p> <p>町田市メール配信サービス1回（5/2）</p> <p>8市連携による海洋プラスチックごみ削減のための啓発活動（プレスリリース：5月10日）</p> <p>※8市：横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、大和市、町田市の市長で構成</p> <p>【総括】</p> <p>町内会や事業者等と連携して美化キャンペーンを実施したり、ごみゼロデーにあわせてメール配信したりするなど、幅広くまちの美化の啓発活動を行うことができました。</p> <p>また、実証実験については設置箇所周辺町内会・自治会に効果を伺ったところ、「これまでごみのことで苦情が出ていた箇所については苦情がなくなった」「前よりきれいになっていると思う」「ポイ捨てごみが減った感触はある」などの声をいただきましたので、引き続き設置を続けていきます。</p> | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|---|
| <p>①・美化推進重点区域内及び付近の町内会・自治会や商店会等と協力して啓発品の配布や清掃活動を行う「美化推進キャンペーン」や、主に市の職員が市内各駅周辺にて啓発品の配布や清掃活動を行う「美化推進キャラバン」等により美化推進啓発活動を行います。</p> <p>①・より幅広い方に美化活動を行ってもらえるよう、キャンペーン参加者を公募するなど啓発活動の方法について検討します。</p> <p>①・ハスのんInstagramへの投稿や、市のホームページを活用し美化推進重点区域の周知等、情報発信を行います。</p> |

| | |
|---------------------|-------|
| 取組施策 | 推進主体 |
| 5-3-4 持ち去り行為防止対策の推進 | ごみ収集課 |

【指標と目標値】

| 指標① | 持ち去り防止活動の実施回数 | | | | | | |
|-----|---------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 年度 | 2019年度 (実績値) | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 目標値 | | | 5回 | 6回 | 7回 | 8回 | 10回 |
| 実績値 | | 3回 | 0回 | 3回 | 4回 | | |

【事業計画】

| 2023年度の取組方針・内容 |
|--|
| ①・地域住民、警察、市の合同パトロールを行い、啓発看板の掲示等持ち去り行為をする者を近寄らせない環境づくりを進めます。 ①・持ち去り行為を防止するため職員による持ち去りパトロールを実施し、持ち去り者に対する指導を行います。 |

【審議会からの意見】

| 審議会からの主な意見 | 市の対応 |
|---|--|
| 持ち去り行為防止対策の推進について、常にパトロールを実施するのは難しいと思いますので、費用面との相談もあると思いますが、パトロールをしていないときでも有効な効果を生む対策を検討してみてください。 | 警察OBによる持ち去り防止パトロールを月20回実施し、持ち去り者発見時には指導を行っています。また、警察との連携を強化しており、引き続き有効な対策について検討して参ります。 |

【評価】

| 2023年度点検結果 | 町田市評価 |
|---|-------|
| | △ |
| 取組経過・1年間の総括 | |
| ①・地域住民、警察、市の合同パトロールは協力団体の要請がありませんでしたので実施できませんでしたが、10月に市民からの情報にてパトロール強化し、資源物の持ち去り者に指導を行い収束しました。(1回) ・9月15日と10月24日に南大沢警察署を、10月23日に町田警察署を訪問し、持ち去り行為について情報交換等を行いました。(3回) ①・職員のパトロールは、警察OB2名が月20回程度、月曜日から土曜日の行政の古紙古着収集コースを中心に実施しました。 | |

【2024年度の事業計画】

| 2024年度の取組方針・内容 |
|--|
| ①・地域住民のパトロール参加が難しい地域では、警察、市の合同パトロールを行い、啓発看板の掲示等持ち去り行為をする者を近寄らせない環境づくりを継続して進めます。 ①・持ち去り行為を防止するため職員による持ち去りパトロールを実施し、持ち去り者に対する指導を行います。 |